

Q and A

好きな教科は? 数学。

嫌いな教科は?

物理。研究やるには嫌いでも避けられませんが。

趣味は?

ギター。筑波大学のサークルにも入っている。

好きな映画は?

アメリカのものをばっかりみますね。ドラマだけどCSIとか。

食べ物は?

納豆、わさび以外の日本食。

普段の飲み物は?

コーヒー。日本に来てからブラックになったね。

ケータイは?

ソフトバンク。常に持ち歩いているものは2年間でダメになる。

パソコンは?

DELLのネットブック。

尊敬する人は?

レゲエの神様、ポプマリー。

なぜ今の研究を始めた?

海と動物が好きだったから獣医になりたかった。だから海洋学が第一希望だった。しかし、第二希望の食品工学へ。でもまたのその岐路に当たったら、今の道を選ぶ。

研究の挫折は?

本当は企業人の道を選択したかった。学部を卒業後に面接があったけど、とことん落ちて「もう少し勉強して下さい」と言われた。

これからのビジョンは?

企業人の夢はバイバイして、共同研究を通して関わっていく。教えることに力を入れる。



07

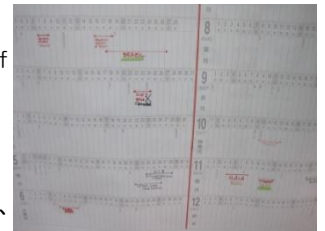
Marcos Antonio das Neves

マルコス アントニオ ダス ネバス

筑波大学 生命環境科学研究科
国際地縁技術開発科学専攻。ブラジル出身で、ポルトガル語は勿論のこと、日本語・英語・フランス語を使いこなす日本好きな先生。研究のキーワードは、食品加工、機能性、エマルジョン、廃棄物利用、抗酸化活性。音楽好きでもあり、好きな言葉はレゲエソングの一節「you can do if you really want」と。グローバル化への道を考えて先生の経験は興味深い。
“頑張り日本”

Skillfulness _ schedule management

基本的に仕事は職場で、家には一冊しか本がないよ。金曜日にオフィスを出るときは「See you next week」だね。E-mailの返信や電話に出るけど、on/offをしっかりと分ける。そこで欠かないのが携帯。携帯はいつでも持ち歩いているから、いつでもスケジュールの更新可能なんだよね。それで手帳にも後で全く同じものを書いている。そうするとスケジュールがわかりやすい。オフィスには年間、月間カレンダーも貼ってあり、見える化はばっちりだ。



indispensable item

ギターと i-pod

もし研究者になっていなかったらギターリストになっていたかも。音楽は人生から切れ離せない。車の中やデスクワークの時もi-podをずっと持っている。そして帰宅するとギターを持つ。ギターは教えるときに貸したりするけど、本当に大切に使ってほしい。

relax

海に入ること。大学時代、海岸を裸足で、何を考えるわけでもなく歩いてたけど、研究に対して影響していたと思う。

idea

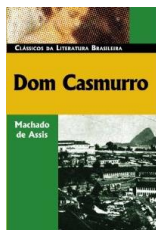
方向性を見る。オリジナルで新規かつ役立つものを考える。今は多くのメディアを駆使して最新情報を手に入れる。

BOOK

私のバイブル

『Dom Casmurro』
Machado De Assis(著)

Luso Brazilian Books
¥1223



私の専門書

『食品工学
ハンドブック』
日本食品工学会(編集)

朝倉書店
¥33660



今の読書

『ナノパーティクル・テクノロジー』
野城 清(著), 細川 益男(監修)

日刊工業新聞社
¥2940

